

# はじめに

在宅療養支援薬剤師の認定試験では、在宅療養支援に関する【知識】【技能】【態度】を備えた薬剤師を認定するものであり、日本在宅薬学会主催バイタルサイン講習会の受講による【技能】修得を必須としております。その上で、認定講習会や学術大会参加などで一定単位を取得した方を対象に、在宅療養支援の現場で必要となる【知識】【態度】を評価する筆記および面接試験を実施しています。筆記試験では、在宅療養支援の現場で多職種との連携や薬学的介入に必要な幅広い【知識】を評価しています。面接試験では、“患者の状態管理が十分できているか？”“医師との協働の中での薬学的評価・介入とその後の確認・情報共有が行えているか？”“認定薬剤師を取得した後にどのような活動を行いたいのか？”など、申請書類の5症例や面接時の質疑応答などを通して、対物業務だけではなく対人業務を如何に実践できるかの【態度】を評価しています。

「調剤業務のあり方について（0402通知）」や薬剤師法・薬機法の改正により、薬剤師は薬を渡す前だけでなく、渡した後の支援の質を高めることが明確に位置づけられています。薬剤師は服薬アドヒアランス向上だけでなく、患者状態・生活環境などの患者全体像を把握するとともに、バイタルサインや臨床検査値を適切に活用したフィジカルアセスメントなどにより、多職種協働の中での医薬品の適正使用の実践が求められています。薬学的問題に対して具体的な薬学的介入の計画を短期・中期・長期の目標として立案・実行することは、多職種協働においても薬剤師職能を生かした多角的な視点で評価・考察することにも繋がります。また、限られた社会保障費や自立支援の観点からも、薬剤師は地域医療を俯瞰的に捉えた上で、薬物療法の最適化を図る資質の向上を日々研鑽することが重要となります。

本サンプル事例を通して、ご自身で経験した事例をまとめる上での参考になれば幸いです。

# 事例報告

記入年月日：20 年 月 日

氏名		所属	
事例発生時期	20 年 月 日	事例終了時期	20 年 月 日
表題			

記載上の注意：MS 明朝 10.5pt の黒文字を用いて記載し、以下の6つの項目を含め1枚に収めること。

## 1. 患者背景(介入に至るまでの経緯)

## 2. 介入が必要と考えられた問題点

## 3. 介入の具体的内容

## 4. 介入の結果および考察

## 5. 今後の課題

# 患者情報

(事例報告1)

年齢	歳代	性別		介護認定	
居住形態		介入開始日		介入終了日	
疾病名					
所見					
医療系サービス	<input type="checkbox"/> 訪問診療 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 看護職員訪問による相談・支援 <input type="checkbox"/> 訪問歯科診療 <input type="checkbox"/> 訪問薬剤管理指導 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> 短期入所療養介護 <input type="checkbox"/> 訪問歯科衛生指導 <input type="checkbox"/> 訪問栄養食事指導 <input type="checkbox"/> 通所リハビリ <input type="checkbox"/> その他( )				
介護系サービス	<input type="checkbox"/> 訪問介護 <input type="checkbox"/> 通所介護 <input type="checkbox"/> 短期生活介護 <input type="checkbox"/> 施設入所( ) <input type="checkbox"/> レンタル利用( ) <input type="checkbox"/> その他( )				
特別な医療	処置内容： <input type="checkbox"/> 点滴の管理 <input type="checkbox"/> 中心動脈栄養 <input type="checkbox"/> 透析 <input type="checkbox"/> ストーマの処置 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 気管切開の処置 <input type="checkbox"/> 疼痛の管理 <input type="checkbox"/> 経管栄養 特別な対応： <input type="checkbox"/> モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等) 褥瘡の処置： <input type="checkbox"/> 失禁への対応 <input type="checkbox"/> カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)				
生活状況					
精神状況					

## 処方薬・サプリメント等の内容(薬品名、用法等)

介入前		介入後	
処方薬・サプリメント名	用法	処方薬・サプリメント名	用法

## 医療衛生材料等の対応(名称・規格等)

## 他の職種との共同指導等の内容

## その他、特記すべき事項